

動作確認チェックシート

検査日	2024年 7月 2日	(機械の仕様・規格を記入する。)			
商品名	マイクロフォーカス3次元X線検査装置	電源電圧	3相200V, 3.0kVA	対象ワークサイズ	200×200mm以内
型式	XVA-160L		单相100V, 2.0kVA	II傾斜角度	0~60°
メーカー名	(株)ユニハイトシステム	周波数	50/60Hz	観察倍率	2.5~1000倍 (幾何学拡大)
機械Ser.No	6008107001	本体大きさ (W×D×H)	1040×1390×1790mm	観察テーブル 回転角度	-180~180°
製造年月	2006年9月	TUBE TYPE	L8322	X線管	0~160kVp, 0~0.2mA

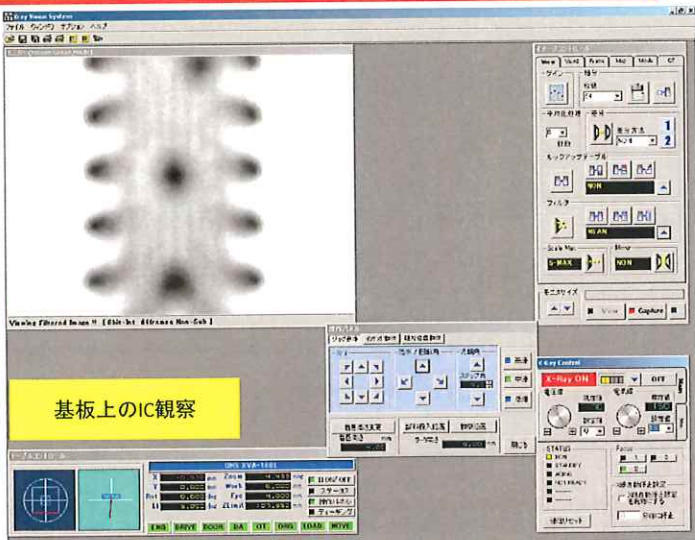
チェック項目	主な確認内容	チェック(○×)
1 外観	筐体・キャスター・継手・スイッチ等に著しいキズ・破損・動作不良はないか。	△(※)
2 起動動作	POWER ON時に異常(異音・異臭・漏電・暴走・アラーム表示等)はないか。	○
3 SW設定	SWの機能は正常か。	○
4 保管・出荷準備	水抜き・ビス締め・清掃・入庫元に関するシール等を取り除く。	○
5 確認シール	動作確認済シールを貼る	○

※X線照射時、『X-RAY』の赤色表示灯が点灯しない。

備考(動作確認内容・不具合内容等) 機器の仕様・規格を満たす事を確認する。

- 装置原点復帰、X線照射、サンプル移動等の動作は問題なし。(タングステンカソードフィラメント切れで交換は実施済)
- 基板、ウエハで確認を実施。
 - 電圧70kV、電流40~150μAで観察できたが、電圧を70kVから±10kVずらすだけで画像が見れない状態となった。
 - 出力調整とステージ上下調整してもフォーカスが合わせられない。

X線の出力調整による画像の調整範囲が狭い。フォーカスが調整できない。
現状では修理・調整が必要。



取扱説明書(有)

修理・改造履歴

年月日	修理・改造記録	作業者
2024年7月2日	タングステンカソードフィラメント切れ、交換。ビームアライメント調整実施。	野沢

File Maker入力 動作(保留) 作業工数[16H] 検査担当者[野沢]	(備考欄コメント)	[責任者]
--	-----------	-----------